

お知らせ

梅雨前線が活発化し まとまった雨が降り 水不足解消へ！

高梁川水系・旭川水系のダム貯水量が 約2600～3500万 m^3 増加しています。

高梁川の取水制限 解除！

岡山河川事務所の湯水対策支部を本日の湯水調整会議後に 解散します。

梅雨前線の活動により、4日9時現在、1日の降り始めからの合計降水量(流域平均)は、高梁川流域162mm、旭川流域117mm、吉井川流域120mmとなりました。

このため、7月4日9時現在、1日9時と比べて高梁川水系主要5ダムで約3510万 t 、旭川水系主要2ダムで約2670万 t 、吉井川水系主要5ダム堰で約480万 t 貯水量が増えて、貯水率は高梁川水系71%、旭川水系62%、吉井川水系83%まで回復しました。

既に高梁川水系では、7月1日からの上水10%・工水10%・農水30%の取水制限を2日12時より一時解除中でしたが、これを全面解除としました。

これに伴い、1日9時から設置中の岡山河川事務所湯水対策支部についても、本日4日の高梁川湯水調整会議の開催後に解散にします。なお、7日に予定していた第2回旭川湯水調整会議の開催については、予定どおり開催します。

これから水の使用量が多くなる夏本番を迎えること、少雨傾向が続く高梁川の主要5ダムの合計貯水量は同時期の過去10ヶ年平均貯水率より約12%低いこと、また国体などビックイベントを控えていることから、引き続き水の管理に十分な配慮をなされ、限りある水資源を大切に使用されるようお願いいたします。

お問合せ先

< 旭川湯水調整協議会・高梁川湯水調整協議会 事務局 >

国土交通省 中国地方整備局

岡山河川事務所 TEL(086)223-5101 代表

工事施工管理官 池田 龍彦 (内線 510)

管理第一課長 三輪 雅夫 (内線 331)

占用調整課長 久佐 伸寿 (内線 340)